－　　－　　－

科目区分	全学必修（2014年度以前生）						
科目名	神戸松蔭とキリスト教						
担当教員	単位認定者：待田昌二						
学期	前期／1st　semester	曜日・時限	木曜1	配当学年	1	単位数	2.0

授業のテーマ	神戸松蔭の歴史とキリスト教の精神を理解する
授業の概要	私立大学は、それぞれ固有の顔を持っています。神戸松蔭の歴史とキリスト教に基づく建学の精神を学ぶことで、神戸松蔭をよりよく理解してここで学ぶ意義を見出すことを目的とした授業です。本学の歴史と建学の精神だけでなく、本学が発展してきた土壌である神戸という土地とキリスト教の活動と文化について、幅広い分野から講師、ゲスト・スピーカーを迎えて学び考えていきます。
到達目標	キリスト教の歴史と聖公会について基本的な知識を得た上で、神戸松蔭の歴史と建学の精神を説明できるようになる。 キリスト教の活動、社会と文化への影響を学び、その愛の精神について理解する。
授業計画	第1回　神戸松蔭の歴史とキリスト教－キリスト教と日本 第2回　神戸松蔭の歴史とキリスト教－聖公会とは 第3回　神戸松蔭の歴史とキリスト教－松蔭の歴史 第4回　神戸松蔭の歴史とキリスト教－松蔭とキリスト教（１） 第5回　神戸松蔭の歴史とキリスト教－松蔭とキリスト教（２） 第6回　神戸松蔭の歴史とキリスト教－神戸とキリスト教 第7回　キリスト教と文化－キリスト教と音楽（１） 第8回　キリスト教と文化－キリスト教と音楽（２） 第9回　キリスト教と文化－キリスト教と美術 第10回 いのちを考える（１） 第11回 いのちを考える（２） 第12回 なぜ人を助けるのか（１） 第13回 なぜ人を助けるのか（２） 第14回 なぜ人を助けるのか（３） 第15回 まとめと試験
授業外における学習（準備学習の内容）	毎回の授業内容を復習し、試験に向けて理解を確実なものにしておく。
授業方法	講義
評価基準と評価方法	課題提出と出席状況等による平常点60%、期末試験40%。 基本的には毎回の授業で感想など小課題の提出あり。最後に、それまでの授業全体を振り返った試験を行うので、各回のノートや配布物は保存しておくこと。
教科書	使用しない。配布プリントによって授業を行う。
参考書	

－　　－　　－

科目区分	全学必修（2014年度以前生）						
科目名	神戸松蔭とキリスト教						
担当教員	単位認定者：待田昌二						
学期	前期／1st　semester	曜日・時限	木曜2	配当学年	1	単位数	2.0

授業のテーマ	神戸松蔭の歴史とキリスト教の精神を理解する
授業の概要	私立大学は、それぞれ固有の顔を持っています。神戸松蔭の歴史とキリスト教に基づく建学の精神を学ぶことで、神戸松蔭をよりよく理解してここで学ぶ意義を見出すことを目的とした授業です。本学の歴史と建学の精神だけでなく、本学が発展してきた土壌である神戸という土地とキリスト教の活動と文化について、幅広い分野から講師、ゲスト・スピーカーを迎えて学び考えていきます。
到達目標	キリスト教の歴史と聖公会について基本的な知識を得た上で、神戸松蔭の歴史と建学の精神を説明できるようになる。 キリスト教の活動、社会と文化への影響を学び、その愛の精神について理解する。
授業計画	第1回　神戸松蔭の歴史とキリスト教－キリスト教と日本 第2回　神戸松蔭の歴史とキリスト教－聖公会とは 第3回　神戸松蔭の歴史とキリスト教－松蔭の歴史 第4回　神戸松蔭の歴史とキリスト教－松蔭とキリスト教（１） 第5回　神戸松蔭の歴史とキリスト教－松蔭とキリスト教（２） 第6回　神戸松蔭の歴史とキリスト教－神戸とキリスト教 第7回　キリスト教と文化－キリスト教と音楽（１） 第8回　キリスト教と文化－キリスト教と音楽（２） 第9回　キリスト教と文化－キリスト教と美術 第10回 いのちを考える（１） 第11回 いのちを考える（２） 第12回 なぜ人を助けるのか（１） 第13回 なぜ人を助けるのか（２） 第14回 なぜ人を助けるのか（３） 第15回 まとめと試験
授業外における学習（準備学習の内容）	毎回の授業内容を復習し、試験に向けて理解を確実なものにしておく。
授業方法	講義
評価基準と評価方法	課題提出と出席状況等による平常点60%、期末試験40%。 基本的には毎回の授業で感想など小課題の提出あり。最後に、それまでの授業全体を振り返った試験を行うので、各回のノートや配布物は保存しておくこと。
教科書	使用しない。配布プリントによって授業を行う。
参考書	

－　　－　　－

科目区分	全学必修（2014年度以前生）						
科目名	神戸松蔭とキリスト教						
担当教員	単位認定者：宮本　憲						
学期	前期／1st　semester	曜日・時限	月曜3	配当学年	1	単位数	2.0

授業のテーマ	神戸松蔭の歴史とキリスト教の精神を理解する
授業の概要	私立大学は、それぞれ固有の顔を持っています。神戸松蔭の歴史とキリスト教に基づく建学の精神を学ぶことで、神戸松蔭をよりよく理解してここで学ぶ意義を見出すことを目的とした授業です。本学の歴史と建学の精神だけでなく、本学が発展してきた土壌である神戸という土地とキリスト教の活動と文化について、幅広い分野から講師、ゲスト・スピーカーを迎えて学び考えていきます。
到達目標	キリスト教の歴史と聖公会について基本的な知識を得た上で、神戸松蔭の歴史と建学の精神を説明できるようになる。 キリスト教の活動、社会と文化への影響を学び、その愛の精神について理解する。
授業計画	第1回　神戸松蔭の歴史とキリスト教－キリスト教と日本 第2回　神戸松蔭の歴史とキリスト教－聖公会とは 第3回　神戸松蔭の歴史とキリスト教－松蔭の歴史 第4回　神戸松蔭の歴史とキリスト教－松蔭とキリスト教（１） 第5回　神戸松蔭の歴史とキリスト教－松蔭とキリスト教（２） 第6回　神戸松蔭の歴史とキリスト教－神戸とキリスト教 第7回　キリスト教と文化－キリスト教と音楽（１） 第8回　キリスト教と文化－キリスト教と音楽（２） 第9回　キリスト教と文化－キリスト教と美術 第10回 いのちを考える（１） 第11回 いのちを考える（２） 第12回 なぜ人を助けるのか（１） 第13回 なぜ人を助けるのか（２） 第14回 なぜ人を助けるのか（３） 第15回 まとめと試験
授業外における学習（準備学習の内容）	毎回の授業内容を復習し、試験に向けて理解を確実なものにしておく。
授業方法	講義
評価基準と評価方法	課題提出と出席状況等による平常点60%、期末試験40%。 基本的には毎回の授業で感想など小課題の提出あり。最後に、それまでの授業全体を振り返った試験を行うので、各回のノートや配布物は保存しておくこと。
教科書	使用しない。配布プリントによって授業を行う。
参考書	

－　　－　　－

科目区分	全学必修（2014年度以前生）						
科目名	神戸松蔭とキリスト教						
担当教員	単位認定者：宮本　憲						
学期	前期／1st　semester	曜日・時限	水曜1	配当学年	1	単位数	2.0

授業のテーマ	神戸松蔭の歴史とキリスト教の精神を理解する
授業の概要	私立大学は、それぞれ固有の顔を持っています。神戸松蔭の歴史とキリスト教に基づく建学の精神を学ぶことで、神戸松蔭をよりよく理解してここで学ぶ意義を見出すことを目的とした授業です。本学の歴史と建学の精神だけでなく、本学が発展してきた土壌である神戸という土地とキリスト教の活動と文化について、幅広い分野から講師、ゲスト・スピーカーを迎えて学び考えていきます。
到達目標	キリスト教の歴史と聖公会について基本的な知識を得た上で、神戸松蔭の歴史と建学の精神を説明できるようになる。 キリスト教の活動、社会と文化への影響を学び、その愛の精神について理解する。
授業計画	第1回　神戸松蔭の歴史とキリスト教－キリスト教と日本 第2回　神戸松蔭の歴史とキリスト教－聖公会とは 第3回　神戸松蔭の歴史とキリスト教－松蔭の歴史 第4回　神戸松蔭の歴史とキリスト教－松蔭とキリスト教（１） 第5回　神戸松蔭の歴史とキリスト教－松蔭とキリスト教（２） 第6回　神戸松蔭の歴史とキリスト教－神戸とキリスト教 第7回　キリスト教と文化－キリスト教と音楽（１） 第8回　キリスト教と文化－キリスト教と音楽（２） 第9回　キリスト教と文化－キリスト教と美術 第10回 いのちを考える（１） 第11回 いのちを考える（２） 第12回 なぜ人を助けるのか（１） 第13回 なぜ人を助けるのか（２） 第14回 なぜ人を助けるのか（３） 第15回 まとめと試験
授業外における学習（準備学習の内容）	毎回の授業内容を復習し、試験に向けて理解を確実なものにしておく。
授業方法	講義
評価基準と評価方法	課題提出と出席状況等による平常点60%、期末試験40%。 基本的には毎回の授業で感想など小課題の提出あり。最後に、それまでの授業全体を振り返った試験を行うので、各回のノートや配布物は保存しておくこと。
教科書	使用しない。配布プリントによって授業を行う。
参考書	

－　　－　　－

科目区分	全学必修（2014年度以前生）						
科目名	神戸松蔭とキリスト教						
担当教員	単位認定者：宮本　憲						
学期	前期／1st　semester	曜日・時限	水曜2	配当学年	1	単位数	2.0

授業のテーマ	神戸松蔭の歴史とキリスト教の精神を理解する
授業の概要	私立大学は、それぞれ固有の顔を持っています。神戸松蔭の歴史とキリスト教に基づく建学の精神を学ぶことで、神戸松蔭をよりよく理解してここで学ぶ意義を見出すことを目的とした授業です。本学の歴史と建学の精神だけでなく、本学が発展してきた土壌である神戸という土地とキリスト教の活動と文化について、幅広い分野から講師、ゲスト・スピーカーを迎えて学び考えていきます。
到達目標	キリスト教の歴史と聖公会について基本的な知識を得た上で、神戸松蔭の歴史と建学の精神を説明できるようになる。 キリスト教の活動、社会と文化への影響を学び、その愛の精神について理解する。
授業計画	第1回　神戸松蔭の歴史とキリスト教－キリスト教と日本 第2回　神戸松蔭の歴史とキリスト教－聖公会とは 第3回　神戸松蔭の歴史とキリスト教－松蔭の歴史 第4回　神戸松蔭の歴史とキリスト教－松蔭とキリスト教（１） 第5回　神戸松蔭の歴史とキリスト教－松蔭とキリスト教（２） 第6回　神戸松蔭の歴史とキリスト教－神戸とキリスト教 第7回　キリスト教と文化－キリスト教と音楽（１） 第8回　キリスト教と文化－キリスト教と音楽（２） 第9回　キリスト教と文化－キリスト教と美術 第10回 いのちを考える（１） 第11回 いのちを考える（２） 第12回 なぜ人を助けるのか（１） 第13回 なぜ人を助けるのか（２） 第14回 なぜ人を助けるのか（３） 第15回 まとめと試験
授業外における学習（準備学習の内容）	毎回の授業内容を復習し、試験に向けて理解を確実なものにしておく。
授業方法	講義
評価基準と評価方法	課題提出と出席状況等による平常点60%、期末試験40%。 基本的には毎回の授業で感想など小課題の提出あり。最後に、それまでの授業全体を振り返った試験を行うので、各回のノートや配布物は保存しておくこと。
教科書	使用しない。配布プリントによって授業を行う。
参考書	